



玉島っ子だより

第11号令和5年12月6日

文責：校長 松尾 信広

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

今年もあと1か月。2023年を有意義に締めくくりにしましょう！

早いもので師走となりました。「一年の計は元旦にあり」と言いますので、**今年**の目標を立てられている方も多いと思います。もし達成できていない目標がありましたら、**ラストスパート**で頑張ってみるのも12月のいい過ごし方だと思います。ちなみに私は5つの目標を立てましたが、まだ2つは達成できていません…。間に合うかどうかわかりませんが、お互い頑張りましょう！

市の意見発表大会で「つながる」ことの大切さを感じました。

子ども達から教わることは日頃からとても多くて、この大会でもたくさんの学びを得ることができました。去る11月11日に、市の**青少年意見発表大会**が行われました。本校を代表して、6年生の〇〇さんが、「修学旅行を通して学んだこと」という題でスピーチしてくれました。〇〇さんは、修学旅行の計画を立てつつも、インフルエンザのために当日参加できませんでした。しかし、タブレット端末を使ってTeamsで仲間とつながり、そのやりとりの中で**仲間の存在**の大きさに気付いたり、「**諦めなければ道はある**」という実感をもったりすることができました。そのことを発表する姿に、〇〇さんや6年生、玉島小の良さを改めて教えてもらえた気がします。裏面に意見発表大会の原稿を載せていますので、是非お読みください！

11月の行事にも玉島っ子は生き生きと取り組みました！

気候的にはかなりイレギュラーな印象があった11月。真夏並みの暑い日があれば、次の日には



ウォークラリー大会

一気に季節が進むような寒い日もありました。秋特有の寒暖差や、気候の変化による自律神経の乱れから起こる体調不良、いわゆる「秋バテ」の心配もありましたが、玉島っ子は元気に乗り切りました。その11月の大きな行事としては、ウォークラリー大会、情報モラル教室、持久走記録会、虹の松原清掃がありました。**ウォークラリー大会**は、「玉島小をもっと良くする取組」として代表委員会で話し合われた行事です。各学年で準備したポイントを、縦割りグループで**助け合ったり励まし合ったり**しながらクリアしていきました。同じ思い出をもつことで、つながりも深まったことと思います。**情報モラル教室**には、講師としてピープルの



持久走記録会



情報モラル教室



虹の松原清掃

の木須さんに来ていただき、3～6年生と保護者の皆さん、本校教職員が参加しました。今回はネットの便利な部分ではなく、怖い部分を中心に話していただき、ネットを**正しく**使う能力が必要であることを学びました。**持久走記録会**では、**最後まで**走り切る玉島っ子の良さと、応援して仲間を励ます**優しさ**を感じる、素晴らしい大会となりました。保護者や地域の皆さんの**大応援**がさらに後押しして、子ども達も元気100倍だったと思います。本当にありがとうございました。そして、6年生が参加した小中連携の**虹の松原清掃**では、限られた時間をやり過ごすのではなく、その中でいかに**働き切る**かという一生懸命さに溢れていました。それに、自分たちで**自然発生的**に役割分担して、効率よく作業をする姿にも感心しました。日頃の協働的な学びや自問掃除などの影響もあるのではと嬉しくなりました。今年度もあと4か月を切りました。日常生活や、このような行事の中で**ハッピーサイクル**を回せるよう見守っていきます。

9月21日と22日、玉島小学校6年生は、修学旅行に行きました。行先は、長崎です。僕は、この修学旅行をととても楽しみにしていたし、少しの不安もありました。楽しみにしていたことは、自分たちだけで長崎の町を回ることができるということです。不安というのは、電車を乗り間違ふなど、トラブルが起きないかということでした。

ところが、僕は前日に高熱を出し、病院に行って検査をすると、インフルエンザという診断を受けてしまいました。それを聞いたときは、熱が高すぎて、修学旅行に行けないというショックも感じず、そのまま寝込んでしまいました。しかし、夕方に熱が下がると、修学旅行に行けないことが残念になってきたので、どうにか参加できないかと考え始めました。

当日行けない僕が参加できる方法として、2つのことを思いつきました。1つ目は、お土産です。僕もみんなと同じようなお土産を買ってきて欲しいと思い、先生に僕のお小遣いを預けることにしました。2つ目は、修学旅行の様子を家にいながら知りたいということです。仲間と話し合って計画してきた旅行です。その計画がうまく行くのか気になるので、長崎でのみんなの様子を僕も共有できないかと思いました。このことを先生に相談し、学校にあるタブレットを家族に取りに行ってもらい、みんなとチームズでつなげてもらうことになりました。

修学旅行の2日間、みんなから送られてくる写真やメッセージのやり取りをしながら、修学旅行の様子を知ることができました。みんなが楽しんでいる様子を見て、ほっとしました。財布を池に落とした友達や、電車に乗り遅れそうになった友達がいたことも、リアルタイムで知ることができました。隔離され、つまらない2日間を過ごすと思っていたが、とても楽しい2日間となりました。

インフルエンザも治った次の週末、僕は父と2人で、修学旅行に行ってきました。みんなが飲んでいた中華街のタピオカジュース。楽しみにしていたチリンチリンアイスや出島の見学。そして、帰ってきた仲間から頼まれた立山防空壕の写真撮影。僕の新たな計画で、長崎の町を楽しく回ってきました。

僕が、この修学旅行で学んだことは、「あきらめなければ道はある」ということです。修学旅行に行くことができないと分かったとき、とても悲しくなりました。しかし、その時の自分にできることを見つけ出すことで、新たな発見や楽しみが生まれました。みんなも初めての修学旅行で忙しかったと思いますが、僕あてに写真やメッセージを送ってくれて嬉しかったです。6年間ともに過ごしてきた友達の優しさを、改めて感じました。チームズを通してですが、人とつながることの喜びも感じました。きっと将来、小学校の修学旅行を思い出したとき、悲しい思い出ではなく、楽しい思い出として心に残っていると思います。

僕は、あと半年で中学生になります。「自分には難しい。」と思う壁にぶつかることもあるかもしれませんが。そんな時は今回のように、あきらめずに、今、自分にできることを考えながら、一歩ずつ前に進んでいきたいです。そして、今回友達がしてくれたように、僕も、困っている仲間がいたら、優しい気持ちで助けることができる人になりたいと思います。